



平成 19 年 3 月 14 日

発行：栄研化学(株)広報部

各 位

今回のニュース

大腸がん検診受診者の死亡リスクは 7 割減

厚生労働省研究班（主任研究者・津金昌一郎 国立がんセンター予防研究部長）は、大腸がん検診として実施される便潜血検査を受診している人は、受診していない人と比べて大腸がんによる死亡率が 7 割低くなるとの調査結果をまとめました。

この研究は、全国の 40～59 歳の男女約 4 万人を 13 年間追跡調査したデータを用いた結果で、大腸がん検診の有効性を裏付けるものとなっております。

弊社は、免疫法便潜血検査用試薬で国内シェア 5 割以上を占めるトップメーカーです。この研究結果により、今後更に大腸がん検診受診者が増えて大腸がんの早期発見、死亡率減少に貢献していきたいと考えております。

なお、今回の研究結果は学術誌「キャンサー・ディテクション・アンド・プリベンション」（1・2 月号）に掲載されております。その内容を添付いたしますので、ご覧ください。

以上

【ニュースレターに関するお問い合わせ先】

栄研化学株式会社 広報部 担当：渡辺裕之、戸田

TEL:03(3813)5405、FAX:03(3813)2206、e-mail:koho@eiken.co.jp

品質で信頼され、技術で発展する栄研

